# NPO法人二枚目の名刺 活動詳細資料



## 2枚目の名刺とは



2枚目の名刺。

それは、本業で持つ1枚目の名刺のほかに、組織を超えて新しい社会を 創ることに取り組む「二枚目な社会人」が持つ名刺。

私たち、NPO法人二枚目の名刺は、2枚目の名刺を持つ社会人の変化と、彼/彼女たちが創り出す価値に注目。社会を見渡すことができ、 1枚目と2枚目を行き来しながら、どちらのフィールドでも、 組織を超えて活躍する二枚目な社会人を増やしていきます。

## 団体概要

団体名称 : 特定非営利活動法人 二枚目の名刺

設立 : 2009年9月(2011年2月法人化)

共同代表 : 廣 優樹

常務理事 : 松井 孝憲

所在地 : 東京都渋谷区富ヶ谷1-31-1-504

URL: <a href="http://nimaime.com">http://nimaime.com</a>

#### 【私たちが思い描く未来】

NPO法人 二枚目の名刺

二枚目の名刺では、社会人が当たり前の選択肢として2枚目の名刺を持ち社会の変化を 仕掛けている、そんな未来を実現します。

#### 【私たちが取り組むこと】

二枚目の名刺が取り組むことは、①社会人が2枚目の名刺を持つきっかけを作ること、 ②2枚目の名刺を持ちやすい社会の雰囲気を作ること、に取り組みます。

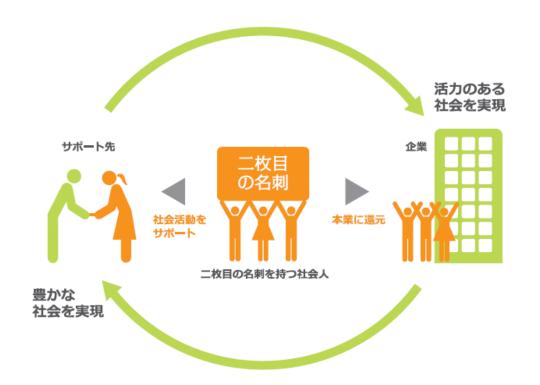
2枚目の名刺を持つことをきっかけに、社会人が変わる。彼/彼女たちは本業以外のところでSPO等と一緒に、あるいは自ら何かを立ち上げ、豊かな社会を創っていく。同時にそこでの気づきや成長が本業(1枚目)での活躍を実現する。

いずれ1枚目と2枚目を行き来しながら、組織を超えて社会をデザインすることになる。NPO法人二枚目の名刺は、2枚目の名刺というアイテムが、社会人・SPO(※)・企業、そして社会にもたらすこの循環を創りだしていきます。

※ SPO: Social Purpose Organization (社会を創ることに取組む団体)

## 主役は、2枚の名刺を持つ社会人

2枚目の名刺を持つプロセスを通して、社会人の成長と活躍を後押し 1枚目と2枚目の間を行き来しながらどちらのフィールドでも活躍する 社会人を増やします。



## NPO法人二枚目の名刺の取り組み

#### 【二枚目の名刺が目指すこと】

- 1. 社会人が2枚目の名刺を持つきつかけをつくる
- 2.2枚の名刺を持つことが当たり前となる社会の雰囲気をつくる

#### 【具体的な活動】

• Common Room : 社会人とSPO(\*)出会う場

サポートプロジェクト: 社会人がSPOと協働するプロジェクト

・ その他、企業/行政とのコラボ

※ SPO (Social Purpose Organization)
社会課題の解決を最上位のミッションに掲げる団体(組織形態は問わない)

# **Common Room**



## Common Roomとは

社会人、SPO (\*)、企業、行政の出会いの場として開催。 また、各回のCommon Roomを通じて、メッセージを発信。

- —— Common Room 実績 21件 (このほか、他団体との共同イベント等 12件)
  - ※ SPO (Social Purpose Organization) 社会課題の解決を最上位のミッションに掲げる団体(組織形態は問わない)



Common Roomとは、誰でも自由に参加できる、誰にも 共通(Common)の空間(Room)という意味です。二 枚目の名刺では、オープンなネットワークイベントのこ とをCommon Roomと呼んでいます。二枚目の Common Roomはソーシャル業界のネットワーキングの 場としてだけではなく、これまで接点はなかったけれど、 同じ興味や関心を持つ人たちを結び付け、より大きな力 を生み出すプラットフォームとなることを目指していま す。因みに、英国の大学内にある社交場・休憩場のこと をCommon Roomと呼びます。Common Roomでは、 学生、教師、スタッフなど、立場や専門を越えて、集い、 語り合います。そのような自由な社交の場になって欲し いという思いから、二枚目の名刺のイベントをCommon Roomと名付けました。

## 参加する社会人の意識

- ・ 自身の変化への期待
  - **―― 成長、新しい視点、出会い**
- 思いを実現する選択肢
  - --- 単純なボランティア作業ではなく、新しい仕組み作りにか かわりたい、という思い。自分らしいかかわり方。
- スキル・経験が直接には生かされない場でのチャレンジ
  - ―― 普段と異なる環境においてこそ、得られる経験。
    - (SPOといつものビジネスの違い・メンバーの多様性)
  - ―― あらためて発見できる、自分自身の価値や能力。
    - (「専門的なスキル」ではない場面での活躍)



## Common Room事例~テーマ別開催~



Common Room 2 ~子どもたちに笑顔を~





Common Room 12 ~国際協力、始める~









Common Room 13 〜私たちの考える 新しい東北〜





∖ 二枚目の名刺 Common Room 20 /



Common Room 20 ~社会を創る資金調達~





## Common Room事例~テーマ別開催~



### 富士ゼロックス

Common Room 5 〜自分に気付く、 仲間と築く〜







#### パソナ

パソボノ〜"社会"も "ジブン"も変える週末〜







#### SCSK

「3.11きずなカフェ」 〜企業発、東北復興を通じた オープンイノベーション**〜** 







#### NTTデータシステム技術

Common Room 13 〜変化を生み出す プロジェクト、始めます〜







## Common Room事例~夏フェス~



二枚目の名刺夏フェス2014 ~NPOと社会人が出会う場~

共催:パソナ/パソナテック 協力:電通







二枚目の名刺夏フェス2015 ~社会に変化を仕掛ける本気の社会人が集う場~

特別協賛:パソナ,損保ジャパン,日経BP,電通,富

士ゼロックス

後援:経済産業省









## Common Roomからサポートプロジェクトへ

### Common Roomでの団体や仲間との"出会い"だけでなく、 サポートプロジェクトを通じた実践の場を創出

#### **Common Room**



同じ意識を持つ仲間や、先進的な活動を実践する団体との出会い

### サポート プロジェクト



様々な背景を持つメンバーによる団体サポートの実践

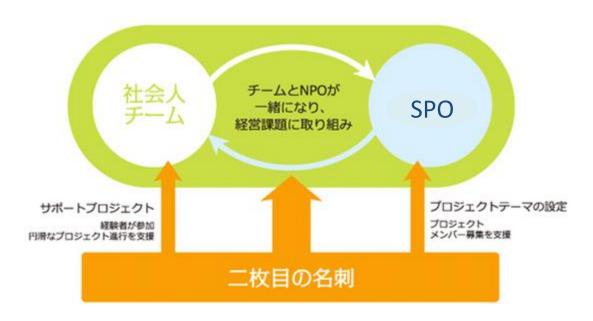


# サポートプロジェクト



## サポートプロジェクトとは

サポートプロジェクトとは、 社会人チームによるSPO向けのコンサルティングプロジェクト

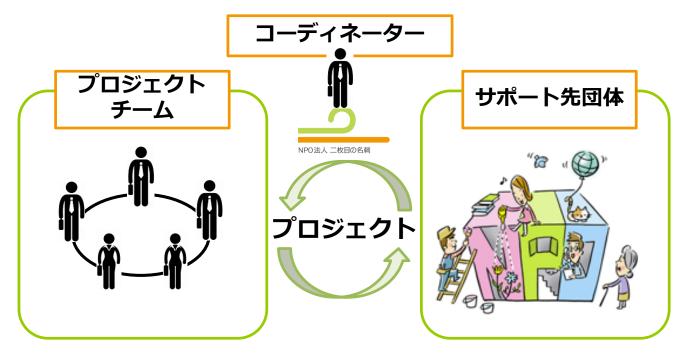


- ◆社会人チームとSPOが一緒になり経営課題に取り組み
- ◆1プロジェクト3~4か月
- ◆取り組み分野の制約なし (サポート先団体やチーム編成によってテーマを柔軟に設定)



## プロジェクトの体制

二枚目の名刺のコーディネーターが、 社会人チーム-サポート先団体でのプロジェクト推進を支援



- ◆ コーディネーター:
  プロジェクト全体の推進サポート(二枚目の名刺メンバーによる)
- ◆プロジェクトチーム: メンバー編成に応じて役割を設定



## これまでの取り組み分野

		サポート先の活動分野							
		教育・子ども	女性・ 母親支援	医療・ 保育	障がい者 支援	まちづくり	環境	国際協力	その他
サポートテーマの領域	組織戦略・中期経営計画策定・事業ポートフォリオ策定・事業シナリオ策定etc	<b>✓</b>	<b>✓</b>				<b>✓</b>	<b>✓</b>	
	<ul><li>事業戦略</li><li>・新規事業開発</li><li>・資金調達/</li><li>ファンドレイジング</li><li>・企業コラボ戦略</li><li>・会員制度構築, etc</li></ul>	<b>✓</b>	<b>\</b>	<b>√</b>		<b>\</b>			<b>✓</b>
	機能戦略/改革実行・行政制度改革・サービスプライシング・マーケティング分析・業務プロセス策定・広報戦略・実行, etc	<b>√</b>		<b>√</b>	<b>✓</b>	<b>✓</b>	<b>✓</b>	<b>✓</b>	<b>√</b>

## これまでの取り組み事例

助産院のサービス拡大 (中期計画の策定)

> コンサル 会計士 官公庁 じょはうす Luna 生保 損保 メディア(TV)

児童養護施設の教育支援拡大 (ファンドレイジング戦略策定と導 入支援)

政府系金融 外資系金融 複写機メーカー きづき きょ 官公庁 コンサル IT(ゲーム制作) 防災情報発信強化 (発信強化プラン策定)

化粧品メーカー IT (営業) 化学メーカー コンサル シンクタンク

モンゴル孤児院支援強化 (事業評価と将来収支 シミュレーション)

> コンサル コンサル コンサル デザイナー 鉄鋼メーカー 官公庁

子ども達の放課後デザイン(全国展開に向けた戦略策定)

銀行 銀行 政府系金融 コンサル シンクタンク チャリティサンタ拡大 (企業コラボレーション戦略の提案、 企業向け提案書の作成)

政府系金融





## これまでの取り組み事例

NPO法人 バイリンガル・バイカルチュラル ろう教育センターの「遠隔文字通訳システム」を、行政でのスタンダードとすべく、アドボカシーレポートを作成

## 遠隔文字通訳システム



利用生徒の端末

文字通訳者 **自宅から** 

#### ※参考:

「合理的配慮レポート: ろう者の社会生活における「合理的配慮」とろう生徒の選択肢の多様化について」 http://www.slideshare.net/pbnresearchers/ss-46412701

17

## これまでの取り組み事例(30件)

2010年 「ねりじょはうすLuna」

「キャリア教育コーディネーター育成制度」

「海の環境教育NPO bridge」

2011年 「ゆいまーるハミングバーズ」

「病気の子ども支援ネット」

2012年「3keys」

「放課後NPOアフタースクール」

[HITOTOWA/Good Day]

「チャリティサンター

「放課後NPOアフタースクール 第2期 |

「Lunch Trip第1期」

[Career Cruise]

[Tokyo Cork Project]

[Standby I

2013年 「バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

[manavee]

「Lunch Trip第2期」

2014年「Standby 第2期」

「バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター第2期」

「シャプラニール」 「キーパーソン21 |

[CAN net]

「金融知力普及協会」 [Mekong Blue]

「アスリート支援 PJ×3 (Team Yuki/Taishi/Kaga」

2015年 「キーパーソン21第2期 |

「CAN net第2期 |

[tadaima!]





Tokyo CORK Product















Bilingual Bicultural Education Center for Deaf Children 特定非営利活動法人 バイリンガル・バイカルチュラル ろう教育 センター















小学校・中学校・高校世代のキャリア教育 認定NPO法人キーパーソン21

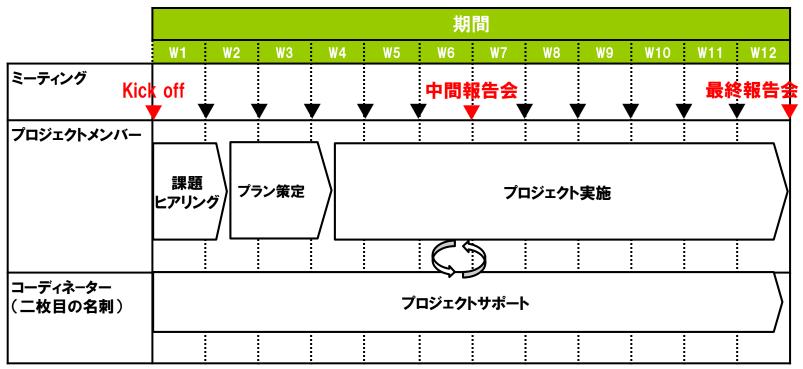


特定非営利活動法人





## サポートプロジェクトのスケジュール例



#### 【標準的な進め方】

- メンバーの個人作業は 約5-10h/週
- ミーティングは約1回/週
  - プロジェクトチーム内ミーティングが隔週1回
  - サポート先との打ち合わせが隔週1回程度
- 中間報告会・最終報告会を実施



## 企業様の導入事例

#### NTTデータシステム技術様の場合



平日の日程で、従業員向けに活動の主旨と プログラム概要について説明会を3回実施









認定NPO法人キーパーソン21

従業員と社外メンバーの混合チームで、 3プロジェクトを実施



マッチング セッション実施

9/6

9/27

11/15

2015年 1/17

社内向け説明会

プロジェクト Kick off

中間報告会

最終報告会





社外にオープンな形で、従業員と社外の 社会人を交えてマッチングセッション (Common Room) を実施



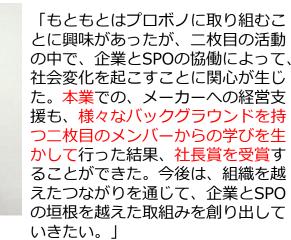
3プロジェクト合同の 報告会。各プロジェクト についての共有やお互い のフィードバックを実施

## サポートプロジェクト参加者の変化



30代 メーカー営業

サポートプロジェクトを通じて、 社会に変化をおこすことが、自分の 中で大きなテーマになってきた。 会社で人事とCSRを巻き込んで、 イノベーションをテーマに二枚目と 共同イベント(Common Room) を企画し、30人を超える同僚を動員 した。その活動が社内でも注目され、 自社のイノベーション方法を企画す る部署に転籍した。二枚目の名前での活動の経験・知見を活かしながら、 社内でのイノベーションの場を創り 出し、社会に変化のうねりを生み出 していきたい。





育児休暇中、自分のアイデンティティを表現できる2枚目の名刺があることがありがたかったです。休暇中でも2枚目の名刺を通じてキャリアが積めて復帰後の仕事にもとても役に立ちました。

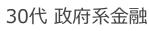
20代 外資金融人事



30代 IT営業

2枚目の活動は、多様性のあるメンバーだからこそ、人の考え方、感じ方を真正面から受け止め、向き合うための良き機会となります。

また、プロジェクトが進行していく中で、互いの良いところを学びあって力をつけていけるチャンスに満ちています。プロジェクトが終わった時、振り返ってみて、自分の変化に嬉しくなりました。







# 企業の声



## 企業の声(人事)

### 若手人材育成としての期待

「社外の二枚目の名刺のような場所で、アクションをし、その<mark>経験を本業にも活かしていく</mark>。そんな社員がどんどん出てきてほしい。また働き方も一つの企業のみで働く形から変わっていくだろう。」 (人材業 人事リーダー 40代 男性)

「サポートプロジェクトを、次世代のリーダー育成のプログラムとして導入した。サポート先のNPOや背景の異なるメンバーとのプロジェクトと実践は大きな学びの機会に溢れている」 (システム会社 人材開発部 30代 女性)

「異業種のメンバーでプロジェクトを実践するところにこそ、通常のアクションラーニングにはない学びや気づきの機会があると考えている」 (人材業 人材開発本部 30代 男性)

### 中高年キャリアディベロップメント支援

「二枚目の名刺で、新しい自分の活動・活躍の場を発見することは、これからシニアになる世代のキャリア支援という観点からも非常に意義が大きい」 (広告代理店 人事 50代 男性)

## 企業の声 (CSR)

#### 事業とCSRの融合

「自社のアセットや知恵も活かしながら、社会に新しい価値を生み出していくための実践のきっかけとなると考えている。」

(IT会社 社会貢献室 30代 女性)

「社員がNPOをサポートする取り組みは、社会貢献だけでなく、人財育成、 新規事業開発、マーケティングにも必要な要素である」 (システム会社 CSR部長 40代 男性)

「二枚目の名刺のプラットフォームで、地域密着型のCSRを推進し、社会貢献にとどまらない、人材育成、貸出増加に向けた施策の可能性についても検討したい」(金融業 CSRダイレクター 20代 女性)



## 企業の声(担当者)

#### 新しい取組みを始めようとする動き

「二枚目の名刺の場で、サポートプロジェクトを通じてさまざまな背景を持 つ社会人、そしてNPOが結びつくことは、イノベーションの種を見つける、 ユニークな什組み」(メーカー営業 30代 男性)

「二枚目の名刺のような活動は、これからの時代にとても則している。自社 の新規事業の中で、このような活動をする人々を増やす什組みを立ち上げて いきたい」 **(メーカー 新規事業開発部 30代 男性)** 

「成熟した市場の中で、会社の外での経験や情報を活かし、自社に活かすこ とのできる人財は、これから自社にとって絶対に必要し

(不動産会社 営業 30代 男性)

「NPOと企業のコラボレーションは新しい取り組みを拡げる可能生をとても 持っている。自社の事業も継続的にこれに取り組んでいくし

(外資系コンサルファーム マネージャー 30代 女性)



## 企業の声(経営)

### これからのビジネスマンに必要なこと

「2枚の名刺を持って、自分で考え行動することは、これからの社会人の誰もが求められる行動様式となる。」 (コンサルティングファーム 会長)

「今後の日本の豊かさを支えるには、異なる脳みそを持つ人々が集まって新しい発想を生み出すことが不可欠。二枚目の名刺はそのような人々が集まる場」 (生命保険会社 会長)

# 主なメディア掲載例



#### 朝日新聞 (2010年7月26日)

#### 2010年(平成22年)7月26日 献を義務づけた。それが法官昇から 仁事で身につけた経理、情報技術(エ 殻企業で働√人々にも広がって含た。 でも第二東京弁護士会が会員に社会員 どボランティアで専門知識や能力を生 から来ている。職業人がNPO支援な ロ・ボノ・プブリコ(公益のために) 菱明くようになった。 ラテン語のプ 米国の弁護士会で盛んになり、日本 オラィス質で プロボノ といろ言 プロボノ

での勘言などもする を助ける。その過程でNPOに運営面 ジの立ち上げ、活動紹介のパンフレッ

トやプレゼンテーション資料作りなど 録し、4日体を支援した。ホームベー ラント」(東)には500人の変 OS年に始まったZPO「サービスグ

社員のプロボノは企業にも利点が主

長い目で重要なのが社員の創造

自分と社会と会社

にも利

る。欧米では企業のプロポノ支援は社 会的責任の一環とも見られている。日 され、勤め先の企業も人材の競争力が ボノをする本人も意欲や創造性を刺激 T)、広報、鶯樂・市場調査、デザイ ンなどの知識や技能を使ってNPOの 大助かりのNPOはもちろん、プロ 一一石三島の利点が期待でき したかったり、人脈や経験の幅を広げ

に興味があったり、感謝される仕事が 軸にNPOの経営を支援しようと、輪 (回)。経理、財務、市場調査などを 性あふれる職場を作ることが経営者の プロポノ李よる人たちは、社会貢献 使命になるのではないか。 き方をヒントにして、働きがいと創造

ネット」はプロボノの契約や作業の標 00人が都内などで活動する プロボ 今のところ、橋渡し役は東京に集中

#### 日経新聞 (2013年7月14日)

食した。 離マンや新士弓でXPO化

これとは別に英国の慶子先で意気投

休暇取得などで煙遇してでも奨励す。 る。人材を育てる近道であり、 ぶつければ、発想の幅は確実に広が ち前の能力を本業とは全く違う課題? えば使うほど磨かれる。プロボノで持 性や積極性を高める効果だ。知識は使

ち。欧米の流れが日本にも上陸しつつある。
事熟心で、かつ社会活動にも関心が高い若者た
事熱心で、かつ社会活動にも関心が高い若者た わえない喜びがあると、経験者が振り返る。 立て、実現していくのは面白い」。会社では味れる実感を持てる」「少人数でどんどん企画を持されている能力を尋ねる。「自分が必要とさ る。参加希望者が詳しい内容や、自分たちに期材を求める諸団体が、自分たちの活動を説明す この種の団体は一般に経営や市場開発、情報発ざまな社会活動をする団体に橋渡しするのだ。 ▼このNPOが開く説明会をのぞい がボランティアで知恵を出すという流れだ。信などのノウハウに乏しい。そこで若手社会人 というつもりはない 「まず本業で一人前になれ」。 ただしサイドビジネスの奨励ではない。何か 在会貢献活動に興味があるが、職を辞して、 Q会人たちが、4年ほど前に設立した。 ラィング会社などに動める、こちらも ラィング会社などに動める、こちらも 会人たちが、 そうした勤め人を、さま てみた。

## 新聞掲載

## (2011年11月14日) 「エコノ探偵団」

#### 口本經濟新聞

もう1つの名刺持つ人、増えてる?専門生かし社会貢献 エコノ探偵団

2011/11/14 7:00 日本経済新聞 プラスワン

「名刺交換すると、2種類差し出す人に出会うようになりました」。会社員の友人の話に探偵 松田章司の目が光った。「もう一つ名刺を持つのはなぜだろう。 勤務先が2つあるということか な」。早速、調査に飛び出した

まず向かった先は、働き方を調査研究する独立行政法人の労働政策研究・研修機構(東京 都練馬区)。「2つの会社を掛け持ちする人が増えたのでしょうか。景気低迷で給与が減ったと いう理由が思いつきます」。章司の質問に郡司正人さん(50)は「多くの会社は社員の副業を禁 止しています。内緒で別の仕事をしているなら、ばれないように名刺は作らないと思いますよ」 と言い切った。

#### ■ボランティア用

「残念、仮説は間違っていたか。実際に持っている 人を探すしかないぞ」。街で聞き込みを始めると「私は 地に本を贈ったり、ボランティアを派遣したりして、子

「厚労省としてできることに加えて、一人の人間とし



福吉隆行さん(27)が持っていたのは、勤務する日本政策投資銀行と「ソーシャルベンチャ ー・パートナーズ(SVP)東京」の名刺。特定非営利活動法人(NPO法人)などに資金を援助し たり、運営ノウハウを伝えたりするのがSVPだという。「銀行には報告済みです。ここでの経験 を本業にもぜひ生かせれば」。福吉さんは話す。

「本業に加えて、ボランティア活動でも名刺があるようだぞ」。調べてみると、自分の専門知識 を活用して社会貢献することを「プロボノ」と呼び、欧米に続き日本でも広がってきたことが分 かった。プロボノ拡大を目指すNPO法人のサービスグラント(東京都渋谷区)は、全国で数万 人が活動しているとみる。

そこで、章司は社外での社会貢献活動を勧めるNPO法人「二枚目の名刺」(同)に足を運ん だ。応対してくれた広優樹さん(31)は震災以降、社会に役立ちたいと考える人がさらに増えた

## 日経産業新聞 (2014年3月19日) 「ビジネススキル」

られる。 関わってしまうリスクも避け は社会人のチー だ。期せずして悪質な団体に 体を利用するのがよさそう 結びつける活動をしている団 ノロジェクトを展開する。 団体の活動を側面支援する は約3カ月で、5~6人ののプロジェクトにかける期 NPO法人「二枚目の名刺」 ムを組織する。 ムを作って慈

い場合、どのように最初の一の募集などに取り組んでいな か。社会人と各種NPOとを 歩を踏み出せばよいだろう 勤務先が社員ボランティア

づいていなかった能力やスキ 別なスキルがなくても参加で ョン実現の手伝いだったりと 〇の資金計画の策定支援だっ ルを発見する人も多い。 同作業する中で、自分では気 きる」と松井孝憲理事(28) 様々だ。ほとんどの場合「特 週5時間を想定している。 人当たりの 作業時間はおよそ プロジェクトの内容はNP 異業種の人たちと共

るウェブサイト「もんじゅ **任意団体のソーシャルマー** るNPOを紹介する。 は、社会人の参加を必要とす 改善案を提案できた」 積める。視野が広がったこと 動なら若手のうちから経験を トを担うが、ボランティア活 に昇進して初めてマネジメン 集情報を掲載するだけでな で、本業でも「課題を発見し、 の思いなどを記事で紹介 運営メンバーが各NP 社会人は通常、 管理職



## WEB記事掲載

#### 日経BP「イノベータ進化論」 (2014年2月28日、3月7日)

#### 日経 BizCOLLEGE 「二枚目の名刺を持とう」(2014年7月〜連載)

イノベーター進化論 🗈

会社を超えてスキルを磨く! 磨いたスキルを本業にも生かす! 自己成長のためのサードプレイス「二枚目の名刺」(前編)【file005】

グローバル化が進展し、企業間の競争が激化する中、「今のままの自分でいいのか」「今 のままの組織で戦えるのか」という閉塞感や危機感を抱く若手ビジネスパーソンは少なくな い。社会とかかわりながら、自分を高め、会社の価値を高めていくことはできないの か!?――。

最近、こうした問題意識から、学びの場を社外に求める人が増えている。なかでも注目を 集め始めているのが、組織を越境して、職場の外で学ぶ「越境学習」だ。企業内研修でも自 己学習でもない、サードプレイスである。

そんなサードプレイスの1つが、2009年の秋に、廣優樹氏を含む英オックスフォード大学留学時代の同級生3人で立ち上げた「二枚目の名刺」(11年からNPO法人)だ。

二枚目の名刺とは、副業のススメではなく、趣味の延長でもない。メーンの取り組みは「サポートプロジェクト」。社会問題などに真正面から立ち向かうNPO法人などとがっち

りスクラムを組み、彼らの課題を共に

本業のスキルを外で使い、外で培っ く、自分が所属する組織や社会までを

なぜ原則、無償であるサポートプロ のか。 彼らにどんな変化が起きている らすのか。 廣代表をはじめとする二枚





#### 「二枚目の名刺」を持とう

「二枚目の名刺」を持って、本業以外の仕事に挑戦する若者が増えている。中でもNPO法人の 「二枚目の名刺」は、NPOをサポートする独特の取り組みで注目を集めている。彼らの活動は 副業ではない。本業のスキルを外で使い、外で培ったスキルを本業に生かすことで、自分だけ ではなく、自分が所属する組織や社会にまで変革をもたらす新しい働き方だ。連載では彼らに 密着してその活動の方法や新たなワークスタイルの可能性を探る。





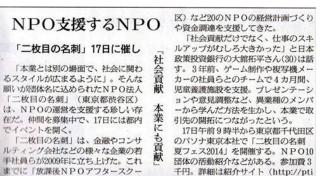
## 「二枚目の名刺 夏フェス 2014」紹介記事

### 産経ニュース (2014年8月8日)



20141 に協賛します。

#### 朝日新聞 (2014年8月14日夕刊)



# 日経 BizCOLLEGE (2014年9月18日)



#### 「二枚目の名刺」を持とう

「二枚目の名刺」を持って、本業以外の仕事に挑戦する若者が増えている。中でもNPO法人の 「二枚目の名刺」は、NPOをサポートする独特の取り組みで注目を集めている。彼らの活動は 刷業ではない、本業のスキルを外で使い、外で培ったスキルを本業に生かすことで、自分だけ ではなく、自分が所属する組織や社会にまで変革をもたらす新しい働き方だ。連載では彼らに 密着してその活動の方法や新たなプークスタイルの可能性を探る。

#### greenz.jp (2014年8月12日)



#### Yahoo ニュース (2014年9月18日)





## インタビュー・講演

同友館「企業診断」 (2013年12月28日) NHK ジセダイ勉強会/ ハッピープロジェクト 経団連 社会貢献担当者懇談会 (2013年9月27日/2015年2月13日) (2014年9月19日)







## 関連書籍•番組

• NHKクローズアップ現代「"二枚目の名刺"が革新を生む」

(2014年1月放送)

—— 弊団体 取材協力

・ 講談社+a 新書

「2枚目の名刺:未来を変える働き方」

米倉誠一郎 一橋大学院イノベーション研究センター教授 (2015年5月21日発売)

—— 弊団体 出版・発信協力

ダイヤモンド社 「時間と場所を選ばないパラレルキャリアを始めよう! 一本業と「2枚目の名刺」があなたの可能性を広げる一」

石山 恒貴 法政大学院 政策創造研究科 教授 (2015年7月3日出版)

一一 弊団体 企画・取材協力、ならびに実践例として内容を紹介

・ クロスメディア・パブリッシング 「人生が変わる2枚目の名刺~パラレルキャリアという生き方」

柳内啓司

(2013年1月17日出版)

――弊団体 介画・取材協力、ならびに実践例として内容を紹介









## NPO法人 二枚目の名刺

二枚目の名刺は、自らの価値観を本業でも2枚目でも表現し、 社会をデザインする二枚目な社会人を輩出し続けます。